

[成果情報名]植物生育調節剤の利用によるブドウ「サニードルチェ」の‘しばみ果’発生軽減方法  
[要約]ブドウ「サニードルチェ」は、第1回目および第2回目のジベレリン水溶液にフルメット 5ppm を加用して処理すると、果粒肥大促進効果とともにしばみ果や裂果の発生を軽減できる。

[担当]果樹試・栽培部・生食ブドウ栽培科・里吉友貴

[分類]技術・普及

-----

[背景・ねらい]

ブドウ「サニードルチェ」は平成21年に品種登録された欧州系品種で、鮮やかな赤色を呈し外観は優れるが、‘しばみ果’や裂果の発生が問題となっている。そこで、しばみ果や裂果の発生抑制の面から最適な植物生育調節剤の利用方法について明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 「サニードルチェ」において、ジベレリン水溶液にフルメットを加用して処理すると、しばみ果の発生を軽減できる（表1、図1）。
2. しばみ果の発生は、第1回目および第2回目のジベレリン水溶液にフルメット 5ppm を加用して処理すると、第2回目のジベレリン水溶液にフルメット 5ppm を加用した場合より軽減できる（表1、図2）。
3. 果梗部に裂果が見られることがあるが、その発生は第1回目および第2回目のジベレリン水溶液にフルメット 5ppm を加用した区で少ない（図3）。

[成果の活用上の留意点]

1. 現状しばみ果対策として、第2回目のジベレリン水溶液へのフルメット 5ppm 加用を推進しているが、それでも発生が見られる園では、第1回目および第2回目のジベレリン水溶液にフルメット 5ppm を加用することで、しばみ果および裂果の発生を軽減する効果が期待できる。
2. フルメットの加用により果粒肥大が促進されると、糖度がやや低下する傾向があるので、摘粒は35~38粒を目安とし、適正収量を遵守する。
3. 一般的なブドウ品種では、第2回目のジベレリン水溶液にフルメットを加用すると、着色不良を助長するので注意する。
4. 勢力の弱い新梢にしばみ果の発生が多くみられるため、やや強めの樹相に導く管理を行う。

[期待される効果]

1. 「サニードルチェ」の高品質・安定生産に寄与できる。

[ 具体的データ ]

表1 植物生育調節剤処理方法の違いが果実品質に及ぼす影響(長梢剪定樹)<sup>2</sup>

処理区		房重	果粒重	糖度	酸含量	着色	しぼみ果の発生率
第1回目	第2回目	g	g	° Brix	g/100ml	c.c.	%
GA25ppm	GA25ppm	590.1	13.9	18.9	0.42	4.3	38.7
GA25ppm	GA25+F5ppm	722.2	16.2	18.2	0.36	4.9	10.6
GA25+F5ppm	GA25+F5ppm	678.2	16.7	17.2	0.35	5.0	4.4

<sup>2</sup> 2013～2014の平均値

調査日: 25+25は8月25日 25+25(F5)、25(F5)+25(F5)は8月31日



しぼみ発生果(25+25)



25(F5)+25(F5)

図1 しぼみ果の軽減状況

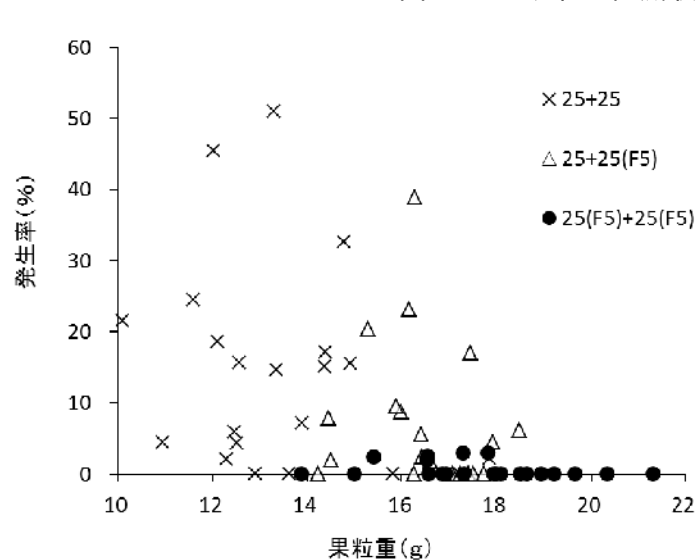


図2 植物生育調節剤処理方法の違いが  
しぼみ果の発生率に及ぼす影響(2014)

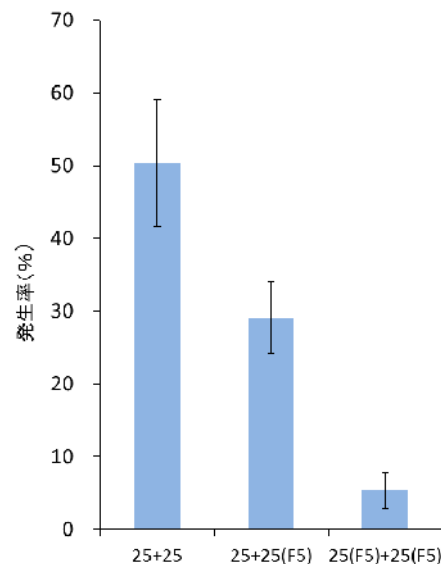


図3 植物生育調節剤処理方法の違いが  
裂果の発生に及ぼす影響(2014)

図中の縦線は、標準誤差(n=7)

[ その他 ]

研究課題名: ブドウ優良品種選抜と栽培技術の確立

予算区分: 県単

研究期間: 2009～2014年度

研究担当者: 里吉友貴、三森真里子、小林正幸、宇土幸伸、小林和司、齊藤典義、上野俊人